

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



道路の安全や美化に努めた
 団体と個人に与えられる国土交通
 大臣感謝状を受け取りました。
 平成26年には環境省より表彰を
 受け、皆様の御支援と御協力により
 2つの国の機関から受けたことは、
 皆様に感謝すると共に共にこれを
 機会により一層の努力をいたしました
 と思っております。

↑道路の安全や美化に努めた
 団体と個人に与えられる国土交通
 大臣感謝状を受け取りました。

国土交通大臣
 表彰状を受賞。

これからの環境教育
 掃活動を実施して
 いまより努力したいと思
 います。
 又、尾道道と共に
 矢田川の清掃活動
 も10年を数え参加
 人数も年々増加して
 おります。このま
 ります。とくに当
 もCSR推進活動
 も実施している関係
 上、企業及び団体
 学校の参加を歓迎
 しておりますので
 参加して汗を流し
 おります。



市場経済の進展は
 そと社会全体として
 個人主義化がすすみ
 相互扶助機能は弱ま
 りました。
 その一方で他者を支
 持しようとする意
 思が高まってもおり、
 れが「ボランティア」の
 契機とすべきです。
 個人と個人との一体性
 が薄まるといっても
 強い「ボランティア」活動
 の原動力に活動を通
 じて発達させること
 個人が人格形成の過
 程が含まれること
 にも理解できます。



尾張旭市市長 水野 義則
 代表幹事 高橋 賢一
 尾張旭市市長 水野 義則
 代表幹事 高橋 賢一
 市長 高橋 賢一

表彰権授賞



やはりボランティア活動の
 大きな要因は、自分も理解
 することであり、その一歩が
 行動であり、人格形成の
 礎が「ゴミ拾
 い」でも道路の
 掃除も大切な
 拾いあげること

